

令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 04 上下水道事業の安定持続
主管課： 上下水道課
関係課： 生活環境課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、上下水道事業を持続する。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安全な水道水が、安定的に供給されていると感じている市民の割合（％）上下水道課						
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
88.80	90.10	89.50	91.10	91.70	91.40	90.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度との比較では0.3ポイント減少し、ほぼ同様となっています。目標値との比較では1.4ポイント上回りました。 （原因）令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として6箇月間上下水道基本料金を減免しましたが、令和3年度は減免はなかったことが、昨年度よりもやや低下した要因のひとつと考えられます。水質事故はなく、断水件数も2件と少ないことに加えて、積極的な老朽管更新事業も行っていることから、目標値を達成できていると考えられます。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

下水道放流水質基準の適合率（％）上下水道課						
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度同様に、基準値及び目標値と同じ100%です。 （原因）浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努め、老朽化設備の改築更新を計画的に行ったほか、事業所排水調査に基づく適切な事業所への指導により、安定的な汚水処理を実施したため、基準値及び目標値を達成できたと考えられます。				
対前年度	維持					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	4,157,851	4,044,746	4,081,505	4,861,750	5,823,181
人件費	95,181	86,940	81,285	0	0
トータルコスト	4,253,032	4,131,686	4,162,790	4,861,750	5,823,181

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 水道水の安定供給	維持	横ば				1, 127, 095	1, 142, 983	1, 166, 514	1, 483, 014	2, 071, 511
02 汚水の安定処理	維持	向上				753, 293	733, 660	784, 853	1, 026, 176	1, 044, 471
03 雨水の適正排水	維持	低下				21, 374	28, 950	39, 009	27, 803	335, 559
04 健全な上下水道事業の経営	向上	向上				227, 171	214, 427	198, 952	233, 540	341, 919
99 施策の総合推進						2, 028, 918	1, 924, 726	1, 892, 177	2, 091, 217	2, 029, 721

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策として実施した上下水道基本料金の減免は、令和3年度には実施していないため、純利益及び料金回収率は、昨年度を上回り、良好な経営状況にあります。また、施設の適正規模を判断する指標の施設利用率も昨年度を上回り、過剰投資は少なく、効率的に施設を運用しています。 老朽管路の更新に併せて耐震管路に切り替え、耐震化を進めており、耐震管適合率は令和2年度よりも0.6ポイント増の30.3%でした。老朽化施設や未耐震化施設を更新するための財源の確保と、技術職員の執行体制が課題となっています。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

安定した水道水供給と汚水処理ができるように、経営戦略に基づく老朽化施設の更新事業とともに、令和3年度に行う下水道施設の耐震診断新結果に基づき、耐震化事業を計画的に進め、適宜経営戦略を見直し、健全かつ安定的な経営に努めます。	成果方向性	維持
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

安定した水道供給のため配水管や自家発電設備等を更新し、汚水の安定処理と雨水の適正排水のため、予定される区画整理事業等に対応した公共下水道事業計画に見直します。 老朽化施設の更新需要の増加や耐震化事業を進めるためには財源の確保や執行体制の強化が課題なので、運転管理と各種計画や設計及び施工監理を一体的に実施することで、現場意見を反映した事業を推進し、執行体制を強化するとともに、国庫補助金を活用した安定財源を確保するため、上下水道施設管理等包括業務委託にコンサルタント業務を追加し、健全かつ安定的な経営に取組みます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加